



市長と

車座トーク

第15回 加茂学区 (概要)



開催日時 2017年(平成29年)3月24日(金)

19:30~20:50

開催場所 加茂公民館

参加者数 11人

次第 市長のあいさつ

意見交換

地域からまとめのあいさつ



<車座トークでの主なご意見>

- ・小学校の卒業式に参加して、「加茂知つとる検定」の受験や、「よさこいソーラン」を踊ってくれた子どもたちが、未来へ向かって巣立っている姿を見て、加茂学区をもっと住みよいまちにし、そして彼らが力を発揮できるまちに思っていた。
- ・中学校の卒業式では、校長が「中学校1年生の時に、子どもたちが地域のお年寄りを招く会を企画・立案、実施した。このことを契機として子どもたちの姿が変わった。頼もしくなったし、自分の力を試そうと、自信を持って取り組むようになった。」と話された。このことから、まちづくりの事業や様々な活動の中に、小・中学生、その保護者、そして高齢者を集めた三世代交流の場を取り入れていくことが大切だと強く感じている。
- ・北産業団地の拡張は、地域の活性化・雇用増加につながるものとして歓迎している。現在の産業団地への主な進入路は、県道福山加茂線となるが、ここ数年、朝・夕の交通量が増加し

ている。通学路でもあり、事故の発生を心配している。今後、北産業団地を拡張するのであれば、道路事情も考慮してもらいたい。

- ・消防団活動は、地域に密着した活動を重点目標に取り組んでいる。学区では、3年ごとに大規模な防災訓練をしている。町内会単位では、消火栓の取り扱いや初期消火訓練、また学区民運動会では、火災を想定した放水訓練などしてアピールしている。
- ・昨年6月の豪雨災害による土砂崩れへの復旧に、相当の日数、多くの団員が出務し、地元から感謝された。一方で団員のなり手がいない。どのように活性化させていくかが課題となっている。例えば、市職員は消防団に入らなければいけないとか、市民税減免等といった特典があれば、消防団への加入が進むかもしれないので、何かアドバイスがあれば教えて欲しい。
- ・北部地域の食生活改善推進員の役員会の場で、中学校で給食が始まっているが、月に一度は親の弁当を持って行く日を残して欲しいという話がでた。
- ・保育所の統合の話で、0歳児から入所を始めるとの説明を受けたが、0歳から他人任せで子どもを育てる施策ではなく、5歳くらいまでは、親がみていけるような施策を考えて欲しい。
- ・市内周辺部には支所を中心とした市民交流センターなどが設置されている。加茂支所管内は協働のまちづくりのための拠点となる公共施設整備が遅れている。検討をお願いしたい。
- ・まちづくりに関する地元協議の方法について、疑問・不信感を持たざるを得ない状況がある。加茂診療所の廃止のときは、地域は新聞報道で知った。最近のふたば保育所の統合についても、まちづくり推進委員会の中で「学区内の公共施設のあり方」について議論してきた経過があるにもかかわらず、まちづくり推進委員会へは協議がなされていない。今後の施設の整備に関しては、まちづくり推進委員会と協議をして欲しい。
- ・今年の2月に8回目の「加茂知つとる検定」を終えた。故郷を愛し、地域に愛着を持つ子どもを育成する趣旨で学校にも受験を呼びかけてきた。現在では、学区の小6と、中1の児童・生徒は全員受験しており、学校での朝の学習や総合的な学習にも活用することができている。
- ・受験者には、地域で作成したテキストを無料で配布し、受験料も無料としている。こうした事業が実施できるのは、まちづくり事業の補助金があるからであり、今後とも、まちづくりの一環として継続できるように、この補助金は継続して欲しい。
- ・子どもたちが、書道に親しみ、地域の方に見てもらえる機会を設けるため、書道大会を行い、ふれあい文化祭で展示し、地域の人に見てもらっている。
- ・子ども会では、役員の負担が大きいこともあり、加入率の低下という現状がある。役員で役割を整理し、支えあいながら活動している。また、研修会を年に一度、「地域で育つ子ども会活動を」というテーマで実施している。
- ・小学校PTAでは、まちづくり事業の補助金を活用して、芸術鑑賞会を実施している。芸術や地域文化に触れ、親しむことは、子どもの心の発達に大切な影響を及ぼすということで、ブラスバンドや和太鼓など、テーマを変えて年1回実施している。今後も市の応援を頂きながら、実施できればと思っている。
- ・市長が小学校訪問をしたと聞き、できれば加茂小学校にも来ていただければと願っている。
- ・中学校では、昨年9月から学校給食が始まったが、保護者にとっては弁当づくりの負担が減

- り、子どもにとっても温かいご飯が食べられると、非常に評判になっている。
- ・小学校同様、中学校にも夜間照明があれば地域活動の場が広がると思う。
 - ・健康寿命を延ばすため、健康づくりの体操を公民館、コミュニティセンターなどで実施しているが、参加者が多くない。他市では、健康器具を設置し、週に3日位自由に出入りできる施設がある。そのような施設が健康づくりには必要だと思う。
 - ・老人クラブ連合会では、グラウンドゴルフ大会や認知症・介護などの研修会を実施している。奉仕活動やボランティア活動も盛んで、神社の清掃、町内の公園の草刈りや資源回収、小学生の登下校の見守りに取り組んでおり、地域の諸行事にも積極的に参加している。
 - ・福祉を高める会は、まちづくり事業として、救命救急法の講習会、認知症講座を実施している。社会福祉協議会の事業では、健康講座（お薬講座等）の実施と合わせて、「いきいき100歳体操」の講習会や研修会をやっている。ふれあいいきいきサロンを28か所設けており、月1回から2回、お茶を飲んで話をしたり、研修会や体操をしたりして、地域に密着した活動をしている。また、小地域福祉ネットワーク事業として、75歳以上の一人暮らし高齢者の家を民生・児童委員とタイアップして訪問している。
 - ・高齢者などの生活支援に対するボランティア活動がなかなか進まない。ボランティア活動や健康診断の受診等についてポイント制を検討して欲しい。

<市長のまとめ>

- ・三世代交流を通じた地域づくりについて同じ思いを持っている。昨年、地域の夏祭りに出向いた際、祖父母からいろいろな食べ物を買ってもらった孫たちの楽しそうな姿が目にとまった。三世代で何か取り組む場ができれば、素晴らしい地域づくりにつながると思う。
- ・北産業団地については、効果について検証しているところである。実施するとなれば大事業となる。今後少子高齢化、人口減少の時代の中にあって、新たな産業づくりに取り組むことは、十分に考え方を整理したうえでないといけない。やる以上は、地元の活性化、市全体の産業振興への貢献、さらには、備後エリアの経済の活性化につながるような思いでやりたい。交通網の整備についても、地元の方々に意見を聞きながらやっていきたい。
- ・まちづくりや地域コミュニティを存続させる大きな働きをしているのが消防団だと思っている。福山市の消防団員は2,800名を超える全国に冠たる組織である。ポンプ操法では全国優勝もしている。我々の誇りであり、絶対に守らなければならない。市の職員も積極的に消防団活動に参加をするべきとの意見や、団員を増やすために何らかのインセンティブがあればとの提案については、何か背中を押すような手法を考えていかなければと思う。企業が、消防団活動をしている社員に対して色々な配慮をしてくれるということを表明してくれたら、若い人たちがそういう企業に入りたいと思うかもしれない。団員確保に向け考えていきたい。
- ・市議会で、大学生の消防団員に対して、消防団活動してきたことの証明を市長名で出したらどうかとの提案があった。就職する時の大きな支えになるし、正式な消防団として活動してみたいと思うかもしれない。実現してみたいと思っている。
- ・親の食事と接するには色々なやり方がある。それぞれの考えで親の食事に触れるという機会

をしっかりと確保するということだと思う。

- ・家庭によっては、事情があつて0歳児保育が必要な家庭があるし、働きたいという意志を持っている母親もおられる。だんだん核家族も多くなっていることを思えば、そういうところをサポートするのが行政だと思いながら、施設の整備をしている。親の教育、親の手づくりが全く無くなってしまえば良いということではない。
- ・公共施設の再整備については、水呑で交流館を造るという議論は表に出ているが、次については、現段階では将来計画や優先順位等は全くない。近い将来できるのであれば、それなりの準備があるし、当分できないのであれば、どのように地域を守り、公共施設を運用していくかと議論ができるようなものを示せるように考えていく。
- ・地元調整のやり方について、話を持っていく先を間違えないようにとのことだが、真摯に受け止めさせてもらう。
- ・引き続き、まちづくり事業の補助金は継続していく。
- ・子ども会の加入率の問題や、役員の負担については、どこの地域でも共通している課題。川口学区では、加入率が一挙に10数パーセント上がったという話を聞いた。理由は、スポーツ雪合戦を活動に取り入れたことから、子どもが興味を示し、親を引っ張る形で子ども会に入ったとのこと。福山の子ども会は、男子はソフトボール、女子はフットベースボールが定番とされてきた。一方で、スポーツも多様化しており、色々地域で工夫された事例だと思う。
- ・神辺学区では、PTAの役員の負担について、特定の人に役員を押しけるという意識や雰囲気、なり手に重いものを背負わせているという話があつた。そこで、極端ではあるが、役員の数を増やし、多くの役員で少しずつ分担するという形もいいのではないかと思う。今後、子ども会加入の成功事例等を調べて情報発信ができればと思う。
- ・補助金を有効活用し、芸術に触れる取組は今後もぜひ継続して欲しい。金沢市では小学校4年生の児童全員を年1回美術館へ招待している。私もいつか実現したいと思っている。
- ・東小学校は、母校ということで招かれていった。加茂小学校の子どもたちが是非とも来て欲しいということであれば、教育委員会とも相談させてもらう。
- ・学校給食を全中学校に行き渡らせるというのが私の公約であり、計画を作成して食育の観点からも良い食事を届けていきたい。
- ・中学校の夜間照明の設置について、小学校単位で設置している夜間照明の照度が低下するなど、更新が必要となっている。まずは、小学校を有効活用していただくことでお願いする。
- ・身近に集まれる場所の健康器具については、地元にあるものを利用するなど工夫していただければありがたい。健康づくりにも色々なメニューがあり、市の福祉担当から紹介させる。
- ・広島県が実施している健康維持のためのポイント制度に、本市も参加しながらやってみたいと思っている。さらに本市独自のポイント制度も考えている。

<地域からのあいさつ>

加茂のまちは、昔から文化と伝統、教育のまちであると考えている。今後も一生懸命にまちづくりに励みたいと思っているので、市も助言、協力、提案をよろしくお願いします。